



鴻巣市立下忍小学校

令和6年11月1日発行

学校だより

◎教育目標（目指す児童像）
「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地
Tel 548-2300

考えて動く 子どもたち

校長 野本 昌宏

「地震や大雨でくるしんでいる能登半島の方たちに何ができるか考えました。」

6年生の子どもたちが1年生にスライドを見せながら話しかけています。この日は、能登半島地震や豪雨災害で苦しんでいる人たちが何かできないかということで、6年生が各教室を手分けしてまわり、下級生に呼びかけを行いました。

事の発端は、数週間前に6年生の担任から能登地域の人たちのために何かできないかということ子どもたちに投げかけてもらったことからです。担任によれば、子どもたちは、どんなことができるかを様々考えたそうです。その上で、募金を呼びかけようということになったそうです。

ポスターを手書きで何枚も作り校内に掲示し、下級生に説明するためのスライドをパソコンを使って作り、募金箱を作成しました。給食時の放送で全校に呼びかけ、冒頭のプレゼンテーションとなったわけです。

私は、6年生のこの取組に大きく三つ意味があると考えています。

一つ目は、学校外の社会の様子に関心をもち、自分たちでできることは何かを考えたことです。話し合う中では、「ボランティアに行こう」という考えも出たようですが、たくさんの方が協力し、子どもたちだけでできることは何かを考え、募金という形に落ち着いたとのことでした。

二つ目は、募金を実行するまでの様々な準備を自主的に進めたことです。ゴールに向けて計画的に物事を進めていくことは決して容易なことではありませんが、子どもたちが自分たちで実行できたこと素晴らしいことだと思います。

三つ目は、計画委員や〇〇委員という組織で実施したのではなく、呼びかけに応じて自主的に集まったメンバーで進めていったということです。

この取組が、能登の人たちに少しでも届き、成功裏に終わることを願いたいと思います。また、もちろん災害はない方が良いのですが、社会に目を向けて、困っている人たちのために何かしらできないかを考えて、実行していくことが、これから下忍小学校の伝統として受け継いでいってくださることを期待したいと思います。



5年生 稲刈り体験

今年も農家の野本様のご厚意で5年生が、10月15日（火）に稲刈り体験を行うことができました。6月には田植え体験で苗の植え方を教えていただき、今回は、稲の刈り方や束ね方を教えていただきました。子どもたちも一生懸命に作業をしていました。普段、学校ではできない貴重な体験をさせていただきました。

収穫したお米は、2学期中に給食で使用し、おいしくいただく予定です。野本様をはじめ、農家の方々には、土や水の管理、草刈りなど、私たちのために、年間を通して作業していただき、本当に感謝しております。ありがとうございました。



6年生 陸上競技大会

10月17日（木）に陸上競技大会がありました。それぞれ練習してきた種目に出場し、力の限り、自己ベストを目指して頑張りました。前日には全校児童に激励の会を開いてもらい、大きな力をもらいました。6年生の児童のみなさん、お疲れさまでした。そして、在校生のみなさん、心のこもった応援をありがとうございました。（写真は当日と表彰朝会の様子）



今年度は4名の児童が入賞しました。



11月は「いじめ撲滅強調月間」です

いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。埼玉県では、毎年11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめ問題の根絶に集中的に取り組んでいます。いじめを受けていたり、いじめに気が付いたりしたら一人で悩まず身近な大人に相談しましょう。また、相談・通報相談窓口等については、本校のホームページにて紹介してありますので、右にあるQRコード（本校ホームページ）よりご参照ください。

※＜地震災害時の確認＞鴻巣市では、お子さんが学校にいる時、震度5弱以上の地震が発生した場合は、お子さんを学校に留置き、既に提出されている引渡しカードに基づき保護者等へ引渡しとなっております。災害時は混乱等が予想されるため徒歩での引取りにご協力をお願いいたします。

